

# 求 人 票

令和9年3月 短大・専門学校 卒業予定対象

求人先	フリガナ	シャカイフクシホウジン セイボカイ テンシノソノ			
	名称	社会福祉法人 聖母会 天使の園			
	所在地	〒 061-1121 TEL 011-372-3520 FAX 011-372-1894 北広島市中央4丁目5番地7			
	代表者	施設長 畠山 祐志	採用担当者	施設長 畠山 主任 浅利・加藤	
	事業内容	児童養護施設	定員	42名	
	設立	大正12年	職員数	47名	
採用条件	雇用形態	正職員			
	採用予定数	数名			
	採用職種	保育士・児童指導員			
	給与・手当	基本給	180,400円	通勤手当	交通機関 上限35,000円 自動車 2,000～16,100円
		特殊業務手当	6,500円	賞与	6月・12月 4.65ヶ月 (公務員に準ずる)
		処遇改善加算手当	24,000円		
		計	210,900円	民改費処遇改善手当	3月 改善費の支給額による 前年度実績230,000円程度
	勤務場所	住宅手当	10,000～16,000円	昇給	1回
		宿直手当(月4～5回)	1回 4,000円		
		寒冷地手当	15,800～20,060円		
勤務場所 北広島市中央4丁目5番地7 社会福祉法人聖母会 天使の園					
休日	月9日 6ヶ月勤務後、有給休暇有 夏季・冬季休暇 各3日				
勤務時間	平日 基本	6:30～15:30 ( 休憩 12:00～13:00 ) 12:00～21:00 ( 休憩 14:30～15:30 )		職員寮 有 現在 空きあり	
	宿直 宿直明け	14:30～24:00 ( 休憩 19:00～20:30 ) 5:30～15:00 ( 休憩 10:00～11:30 ) 他にも勤務時間あり			
加入保険	1. 健康保険 2. 厚生年金 3. 雇用保険 4. 労災保険 5. 退職共済				
応募・試験	応募締切日	令和8年9月18日	提出書類	1. 履歴書(自筆のもの) 2. 成績証明書	
	試験日	令和8年9月28日			
	試験会場	社会福祉法人聖母会 天使の園			
	試験方法	面接・作文 (実習等で試験日に都合がつかない場合は別日での対応を検討しますので、履歴書送付後ご連絡ください)			
その他条件等 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務へ従事するに当たっては、令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律(令和6年法律第69号。以下「子ども性暴力防止法」といいます。)に基づき、特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認が必要となります。</li> <li>・特定性犯罪の前科がある場合(特定性犯罪事実該当者の場合)は、子ども性暴力防止法に基づき、本業務に従事させないこと等の措置を講じる必要があるため、当法人の採用条件の一つとして、特定性犯罪の前科がないことを求めることとしています。</li> <li>・このため、予め、採用選考過程において、誓約書や履歴書等により、特定性犯罪の前科の有無を確認いたします。</li> </ul> <p>※「特定性犯罪」、「特定性犯罪事実該当者」の内容は裏面参照条文をご参照ください。</p>				

## 別紙(参照条文)

学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）（抄）

（定義）

第二条（略）

7 この法律において「特定性犯罪」とは、次に掲げる罪をいう。

- 一 刑法（明治四十年法律第四十五号）第七十六条、第七十七条、第七十九条から第八十二条まで、第二百四十一条第一項若しくは第三項又は第二百四十三条（同項の罪に係る部分に限る。）の罪
- 二 盗犯等の防止及び処分に関する法律（昭和五年法律第九号）第四条の罪（刑法第二百四十一条第一項の罪を犯す行為に係るものに限る。）
- 三 児童福祉法第六十条第一項の罪
- 四 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成十一年法律第五十二号）第四条から第八条までの罪
- 五 性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律（令和五年法律第六十七号）第二条から第六条までの罪
- 六 都道府県の条例で定める罪であって、次のイからニまでに掲げる行為のいずれかを罰するものとして政令で定めるもの
  - イ みだりに人の身体の一部に接触する行為
  - ロ 正当な理由がなく、人の通常衣服で隠されている下着若しくは身体をのぞき見し、若しくは写真機その他の機器（以下このロにおいて「写真機等」という。）を用いて撮影し、又は当該下着若しくは身体を撮影する目的で写真機等を差し向け、若しくは設置する行為
  - ハ みだりに卑わいな言動をする行為（イ又はロに掲げるものを除く。）
  - ニ 児童と性交し、又は児童に対しわいせつな行為をする行為

8 この法律において「特定性犯罪事実該当者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

- 一 特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者（その刑の全部の執行猶予の言渡しを受けた者（当該執行猶予の言渡しが取り消された者を除く。次号において「執行猶予者」という。）を除く。）であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して二十年を経過しないもの
- 二 特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者のうち執行猶予者であって、当該裁判が確定した日から起算して十年を経過しないもの
- 三 特定性犯罪について罰金を言い渡す裁判が確定した者であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して十年を経過しないもの

附 則

（改正前の刑法に規定する罪についてのこの法律の適用関係）

第二条 第二条第七項（第一号に係る部分に限る。）の規定の適用については、次に掲げる罪は、同号に掲げる罪とみなす。

- 一 刑法の一部を改正する法律（平成二十九年法律第七十二号。次項において「刑法一部改正法」という。）による改正前の刑法第七十八条の二、第八十一条第三項若しくは第二百四十一条の罪又はこれらの罪の未遂罪
- 二 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律（令和五年法律第六十六号）第一条の規定による改正前の刑法第七十六条から第七十八条までの罪又はこれらの罪の未遂罪

2 第二条第七項（第二号に係る部分に限る。）の規定の適用については、刑法一部改正法附則第三条の規定による改正前の盗犯等の防止及び処分に関する法律第四条の罪（刑法一部改正法による改正前の刑法第二百四十一条前段の罪又はその未遂罪を犯す行為に係るものに限る。）は、同号に掲げる罪とみなす。

（懲役を言い渡す裁判についてのこの法律の適用関係）

第三条 第二条第八項（第一号及び第二号に係る部分に限る。）及び第三十四条第二項（第一号並びに第二号ロ及びホに係る部分に限る。）の規定の適用については、刑法等の一部を改正する法律（令和四年法律第六十七号）第二条の規定による改正前の刑法第十二条に規定する懲役又はその全部の執行猶予を言い渡す裁判は、拘禁刑又はその全部の執行猶予を言い渡す裁判とみなす。

※第2条第7項第6号の罪は、学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律施行令（令和7年政令第440号）（抄）第2条及び附則第2項に掲げる条例（各都道府県のいわゆる迷惑防止条例及び青少年健全育成条例）で定める又は定められていた罪であって、同号イからニまでに掲げる行為のいずれかを罰するものをいう。